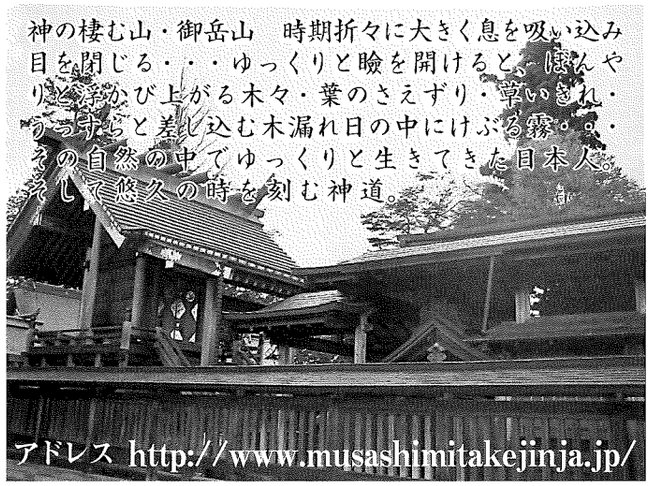
HP開設にあたり

この度、当神社におきましてもHPを開設させていただきました。時代の経過と共に日本も変わり、神社を取り巻く環境もめまぐるしく変化してまいりました。世情が変わりましても神道の理念は変わることはございませんが、情報の伝達の手段は口伝から電話へ、手紙からメールへと変化して参りました。生活も核家族化が進み、個人尊重という名目の下、支えあうことを忘れ、息苦しさを感じ始めたとき、携帯電話・ネットやメールなどが広まりました。手軽に他人と何かを共有できる一時に人は安らぎを見出しているのかもしれません。とかく賛否が分かれるところですが、これに安らぎを得る人々が増えたことも事実です。

この度HPを開設させていただくことで、多くの方に感謝の気持ちと自然への敬意を思い出していただくきっかけになればと思います。不備な点もあるとは存じますが、どうぞご観覧下さい。



奉納

（平成十九年九月一日～平成二十年一月三十一日）　敬称略　五千円以上

小寺　健一（東京・八王子市）
小町　幸生（東京・東村山市）
成瀬　太一（東京・青梅市）
越前　祥治（東京・青梅市）
武藤　志げ（千葉・船橋市）
馬橋稲荷神社（東京・杉並区）
茅ヶ崎上赤羽講（東京・足立区）
石井　長衛（埼玉・ふじみ野市）
新井　喜久治（東京・昭島市）
近藤　富夫（埼玉・新座市）
田中　實（埼玉・新座市）
田中　誠治（埼玉・新座市）
野島　廣治（埼玉・新座市）
並木　利男（埼玉・新座市）
並木　平一（埼玉・新座市）
高野　鉄夫（東京・東久留米市）
五十嵐　剛（東京・練馬区）
阿川　哲夫（東京・八王子市）
須崎　嘉子（埼玉・戸田市）
峯岸　栄一（東京・武蔵村山市）
進藤　喜一（神奈川・川崎市）
中原鳶工業組合（埼玉・飯能市）
鈴木　誠治（東京・板橋区）
荒井　宏二（青森・青森市）
榊田　好友（埼玉・所沢市）
一番ヶ瀬　聖子（東京・練馬区）
杉本　正（東京・青梅市）
日立高速印刷株式会社（東京・あきる野市）
株式会社サンライズカンパニー（東京・多摩市）
中島　悟史（東京・多摩市）
瀧　柱郎（東京・多摩市）
平原　武（東京・青梅市）
小泉　直広（埼玉・入間市）
ウチダハウス（東京・練馬区）
酒井　靖夫（埼玉・川越市）
昭栄御岳講（神奈川・川崎市）
東海大学菅生高等学校硬式野球部（東京・あきる野市）
峯岸　一雄（東京・多摩市）
石谷　嘉子（東京・多摩市）

御岳山の行事

三月　八日　春季大祭
　　下旬　奉納俳句奉告祭
四月二十一日　産安社祭
　　二十九日　奉納剣道大会
五月　七日　日の出祭（宵宮）
　　八日　日の出祭（神輿渡御）
　　十五日　男具那社祭
六月　七日　大口真神社祭
　　修行体験講座（一泊）
　　十五日　神楽と雅楽の一般公開
　　三十日　峰中修行（日帰り）
七月二十一日　修行体験講座（一泊）
九月　六日　カンタンを聴く会
　　初旬　神楽と雅楽の一般公開
　　十五日　大口真神社祭
　　二十九日　流鏑馬祭
十月　六日　薪神楽
　　七日　薪神楽
　　八日　秋季大祭
十一月　二十三日　末社祭
十二月　九日　山岳マラソン
　　二十三日　天長祭
　　三十一日　大祓
一月　一日　元旦祭
　　三日　太占祭
　　大口真神社祭
二月　三日　節分祭
　　初午　稲荷社祭
　　十一日　紀元祭
毎月　八日　月次祭
毎日　日供祭

奉納

この度、二つの講中の合同により、石段を御奉納いただきました。今後とも整備事業として、皆様方のご協賛をお願い申し上げます。

稲荷社前石段奉納　平成十九年十月吉日　竣工

奉納者　朝霞市　広沢講中
講元　芳野　浅嗣
講員十四名
主幹宮司　天野　光紘

奉納者
立川市　中村建設株式会社
代表取締役　中村　陽子
中村　智英子
国立市　中村　勉
主幹宮司　黒田　忠雄

修行体験講座

日本人の原点

昨年は毎回多くの方にご参加を頂き有難うございました。九月の体験講座では、女性では始めての十回参加となる方もいられました。大自然の中で日常の生活を忘れ、精神と心の修行は如何でしょうか？

一泊二日体験講座
六月七日(土)～八日(日)、
九月六日(土)～七日(日)

日帰り体験講座
七月二十一日（祝日）

資格　十八歳～六十五才くらいまでの健康な方

開催人員　三十名まで

費用　一泊二日　一万五千円（申込金・五千円振込）
日帰り　七千円（申込金・全額七千円振込）

締切　開催一週間前　申込金の事前振込が必要です。
沢山の方の御参加をお待ちしております。

太々神楽一般公開

平成十八年は「古都保存法」施行四十周年にあたり、古都保存財団（平成五年設立）が平成十九年一月三十一日「選定委員会」を開催し「美しい日本の歴史的風土百選」を選定し、わが国固有の文化的資産として歴史的風土の保存と継承がなされている土地として「御岳山・武蔵御嶽神社」が準百選に選ばれました。

これを記念し、当神社の太々神楽を一般の皆様にも観賞していただけるように昨年の四月より十一月まで毎月第三日曜日に夜神楽として公開いたしました。当神社の太々神楽は、江戸中期の寛延年間と安永年間に伝えられ、昭和三十二年、東京都無形民俗文化財に指定され、現在神職により伝承されています。昨年は多くの皆様に観賞いただきましたので本年も同様に一般公開を致します。この機会に是非ご来社下さい。

夜神楽　四月より十一月までの毎月第三日曜日
於・神楽殿（夜間）

神楽と雅楽の一般公開
六・九月十五日
於・神楽殿（午前十一時）
十月六・七日
於・野外特設舞台（夜間）